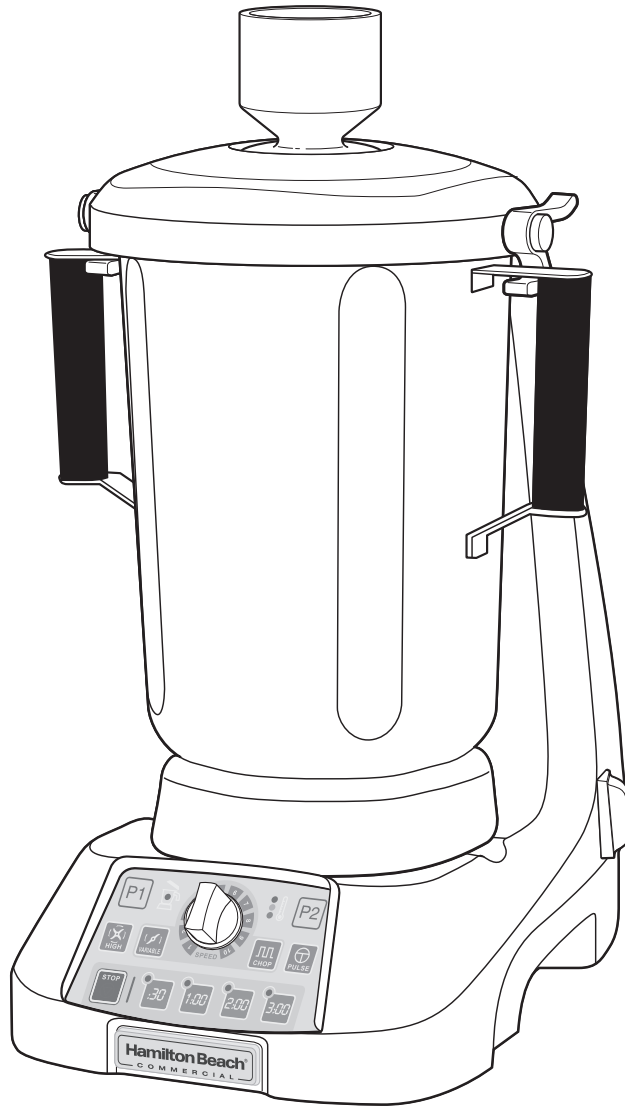




ハミルトンビーチ
フードブレンダー HBF1100 / HBF1100S
取扱説明書

お買い上げありがとうございました。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
安全にご使用いただくために必ず「安全上の注意」をお読み下さい。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。



HBF1100/HBF1100S

安全上のご注意



警告

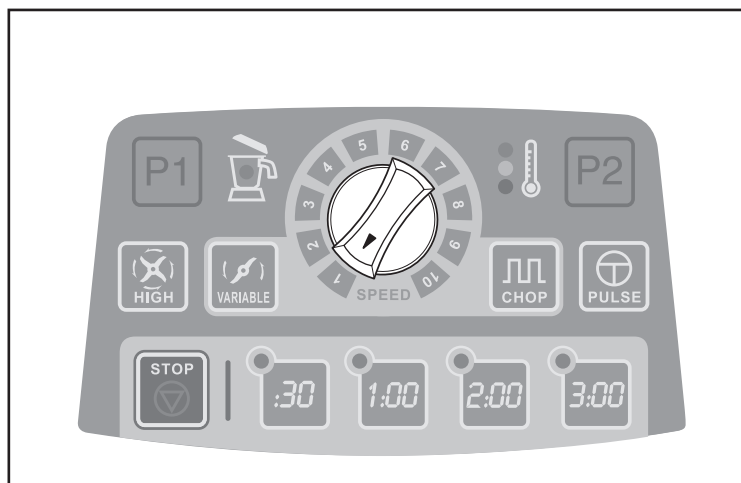
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないで下さい。 発火したり異常作動してケガをしたり事故の原因となります。</p>	 水掛け禁止	<p>モーターユニットを水につけたり、水を掛けたりしないで下さい。 ショート、感電の恐れがあります。</p>
 禁止	<p>カッティングユニットを露出したままで運転しないで下さい。 ケガをする恐れがあります。</p>	 ふた開け禁止	<p>運転途中に、コンテナカバーを開けたりコンテナの中へ指、スプーン、はし等の調理材料以外を入れないで下さい。 ケガをする恐れがあります。</p>
 アース工事	<p>アースは確実につないで下さい。 アースが不完全の場合は火災や感電の原因となります。</p>	 専用電源	<p>電源コードは途中で接続したり延長コードを使用しないで下さい。 また電源コード並びに電源プラグは機具の電気容量に合った物を必ずご使用下さい、感電や発熱火災の原因となります。</p>



注意

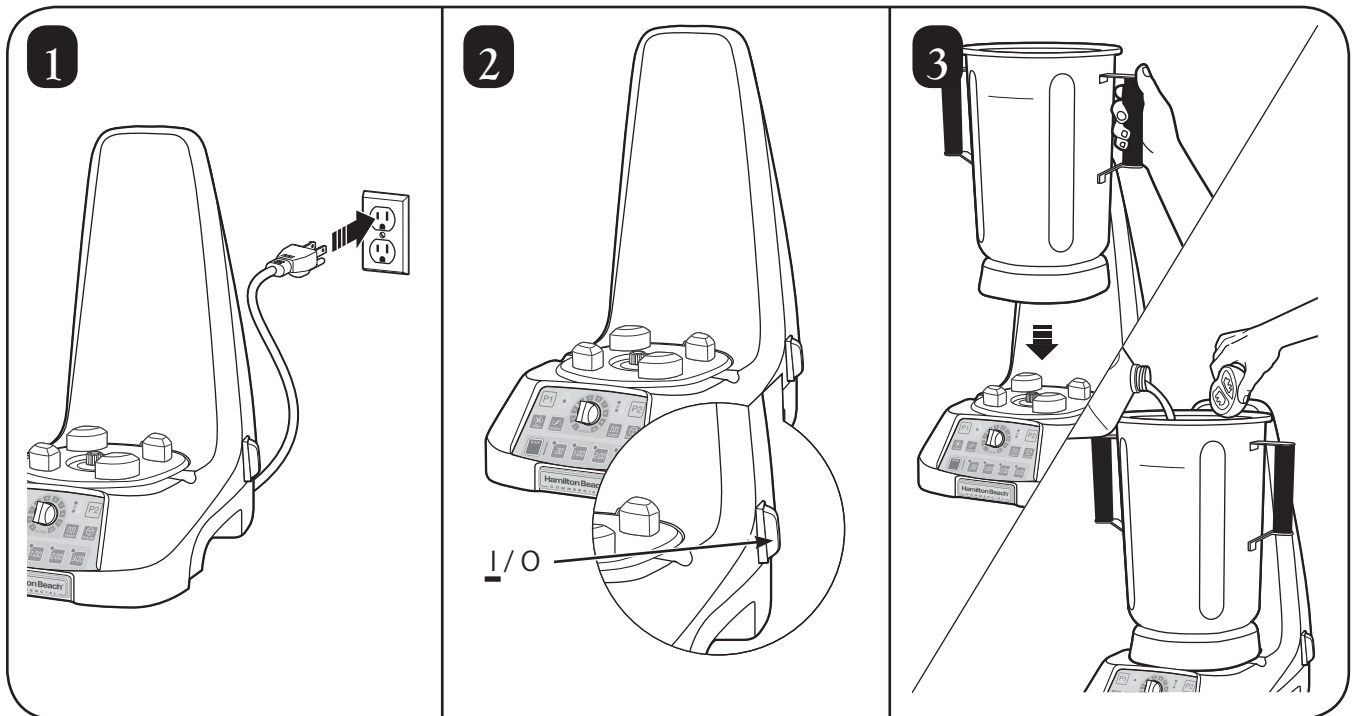
 強制	<p>電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。 感電やショートして発火することがあります。</p>	 強制	<p>スイッチOFFを確かめてから、電源プラグを抜き差しして下さい。 感電等、ケガの原因となります。</p>
 禁止	<p>コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差込みがゆるいときは使用しないで下さい。 感電・ショート・発火の原因となります。</p>	 禁止	<p>コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。 また、重いものを乗せたり、挟み込んだりするような加工をすると、コードが破損し火災や感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>交流100V以外は使用しないで下さい。 火災や感電の原因となります。</p>	 移動禁止	<p>運転中に移動させないで下さい。 ケガの原因となります。</p>
 禁止	<p>不安定なところでは使用しないで下さい。 ケガの原因となります。</p>	 禁止	<p>運転中にコンテナ、コンテナカバーの取付、取外しは行わないで下さい。 ケガの原因となります。</p>
 強制	<p>部品の取付、取外しやお手入れをするときは必ず器具のスイッチを切り電源プラグを抜いて下さい。手を引き込まれたり感電事故の原因となる恐れがあります。 *電源プラグを抜く際には必ず機具のスイッチを切り、プラグ部分を持って抜いて下さい。</p>	 濡手禁止	<p>濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないで下さい。 感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>カッターは鋭利ですので直接手を触れないで下さい。 ケガの原因となります。</p>	 禁止	<p>危険ですので、お子様には使用させないようにして下さい。</p>

ご使用方法



	<p>スピード調整ダイヤル 10段階で調整することができます。 VARIABLE または CHOPモードでご使用いただけます。</p>
	<p>高速モード 低速でスタートし高速回転に移行します。</p>
	<p>VARIABLE/ヴァリアブル (スピード調整) モード スピード調整ダイヤルで調整した10段階の速度で撹拌します。 ミキシング中もスピードダイヤルでの調整変更可能です。 止める場合は、STOPボタンを押します。</p>
	<p>CHOP/チョップ (スピード調整) モード スピード調整ダイヤルで調整した10段階の速度で低速と高速を交互に繰り返して撹拌します。ミキシング中もスピードダイヤルでの調整変更可能です。止める場合は、STOPボタンを押します。</p>
	<p>PULSE/パルスモード 押している間だけ高速で撹拌します。</p>
	<p>P1, P2/プログラムモード お好みの設定を記憶させておくことができます。</p>
	<p>コンテナセンサー コンテナカバーが正確に取り付けられていないとランプが点滅します。 コンテナカバーが正確に取り付けられ、ランプが点灯していないと、モードボタンを押しても作動しません。</p>
	<p>モーター温度センサー モーターの状態をお知らせします。 「赤」点灯すると、モーターがオーバーヒートの状態となり、ボタンを押しても作動しなくなります。</p>
	<p>タイマーモード 30秒、1分、2分、3分で自動的に停止します。</p>
	<p>STOP/停止ボタン 停止ボタンを押すと停止します。</p>

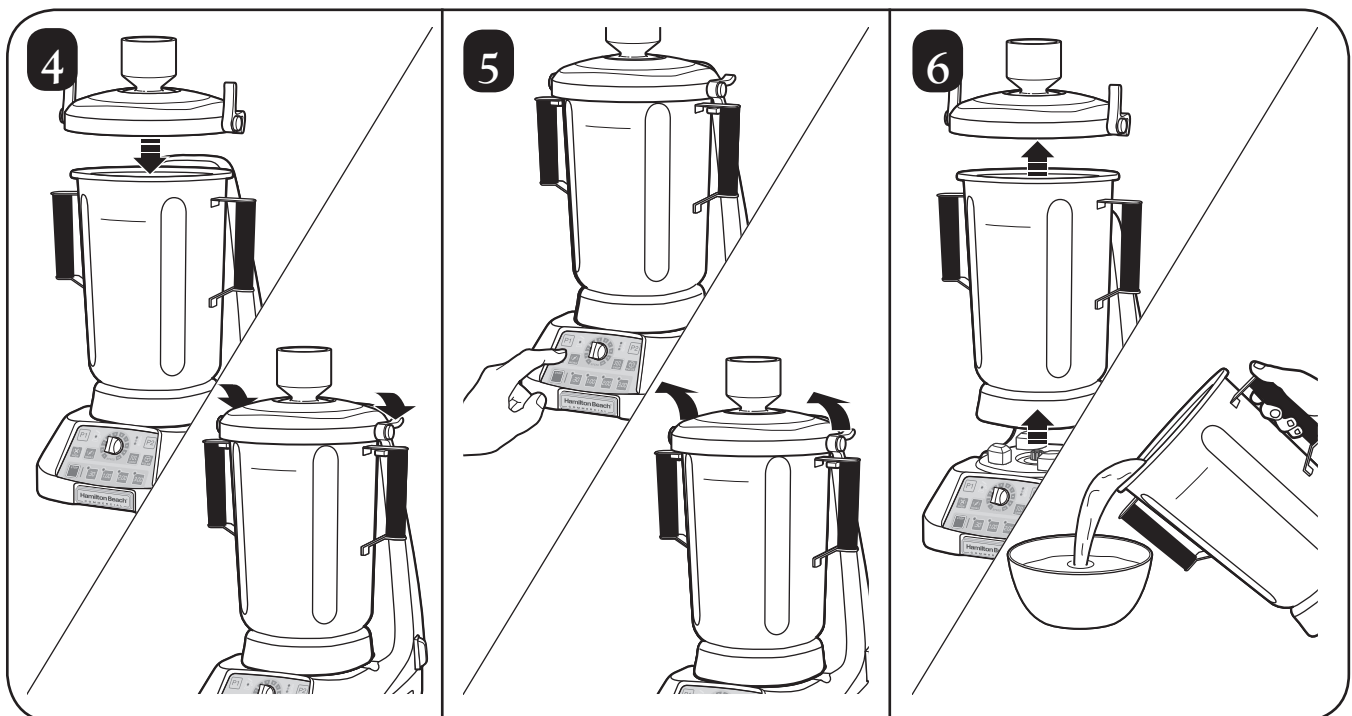
ご使用方法 2



1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチをONにします。

3 コンテナに食材を入れ、コンテナをセットします。



4 コンテナカバーをしっかりと閉めHBF1100Sの場合はラッチをしっかりと閉めます。

5 お好みのモードでミキシングします。ミキシング終了後にモーターが完全に停止したことを確認してください。

6 HBF1100Sの場合はラッチを開き、本体からコンテナを持ちあげ、コンテナカバーを取り外し、食材を注ぎ出します。

— お手入れ —

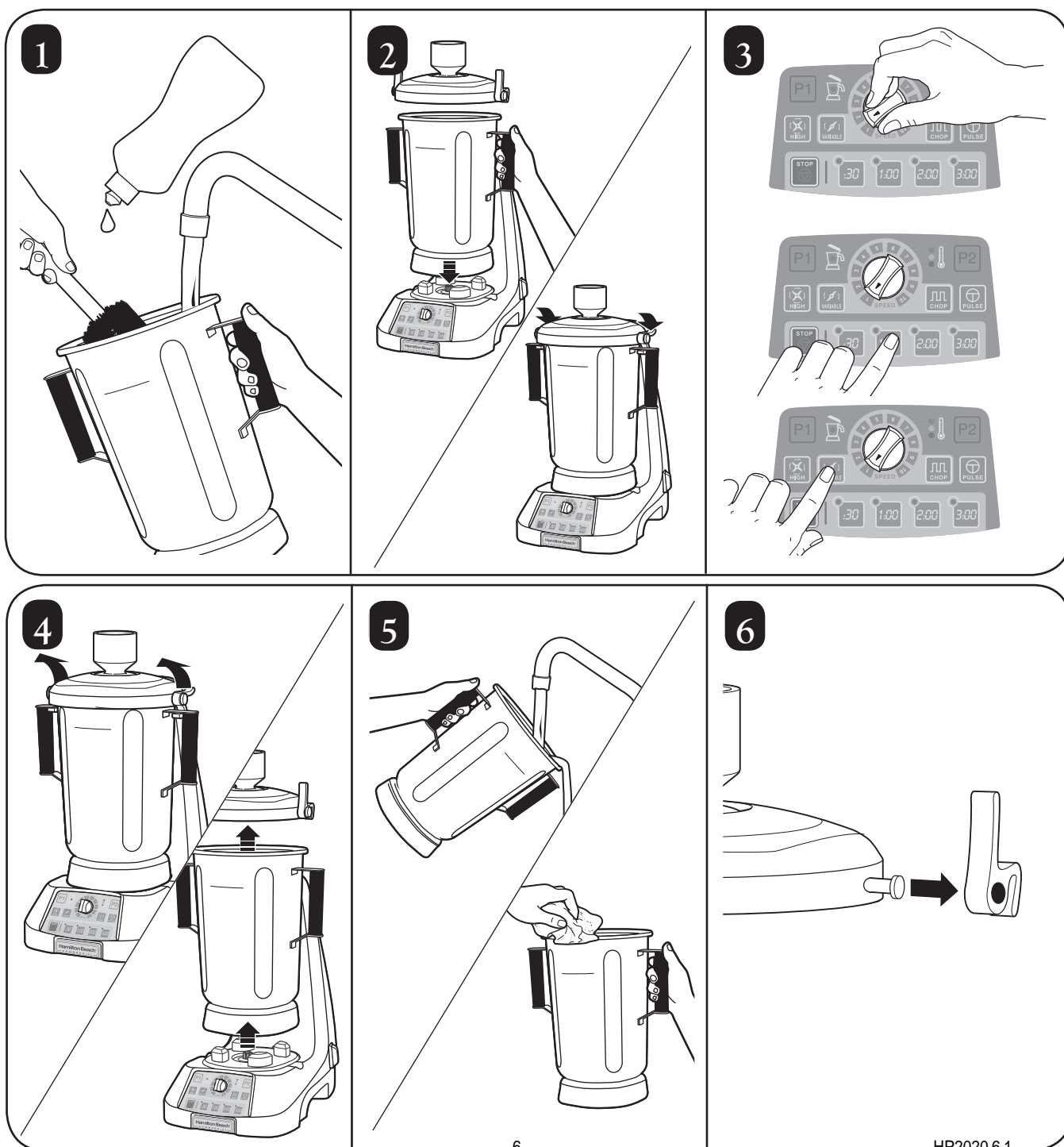
製品を長く安全・衛生的にご使用いただくために、使用のたびにきれいにお手入れすることをお奨めします。

- ・コンテナ、コンテナカバー、フィルキャップは毎回のオペレーション終了後には中性洗剤を使用し、スポンジや軟らかいブラシなどで洗浄を行ってください。
※研磨剤を含んだ洗浄液やスポンジなどをご使用になりますとキズが付く場合があります。
※食器洗浄機はご使用になれません。
- ・毎日の作業終了時には下記の手順でコンテナを洗浄することをお奨めします。

- 1 コンテナの最大容量の約1/3(1200cc程)ぬるま湯と低起泡性洗剤を入れ、スポンジや軟らかいブラシで洗浄します。
※洗剤の使用方法は洗剤の容器に記載されている使用方法に従って安全にご使用ください。
※洗浄機はご使用になることができません。パーツの早期劣化につながり故障の原因となります。
- 2 3 フィルキャップとコンテナカバーをしっかりと閉めて (HBF1100Sはラッチを閉めてください)、スピードを1にしてVARIABLEモードで1分間のタイマーボタンを押し、洗浄を開始して下さい。
- 4 5 1分後自動的に停止します。停止後コンテナをきれいにすすいでよく乾かして下さい。
6 ラッチは取り外すことができます (HBF1000Sのみ)。
中性洗剤でよく洗い、きれいにすすいで、よく乾かして下さい。



カッターに異常を発見しましたら必ず販売店に相談してください。
※定期的にカッターに異常がないことをご確認ください。カッターの劣化、クラッチの摩耗、電源コードやプラグの損傷など、異常を感じましたらご使用を中止し、販売店にご連絡ください。



— お手入れ 2 —

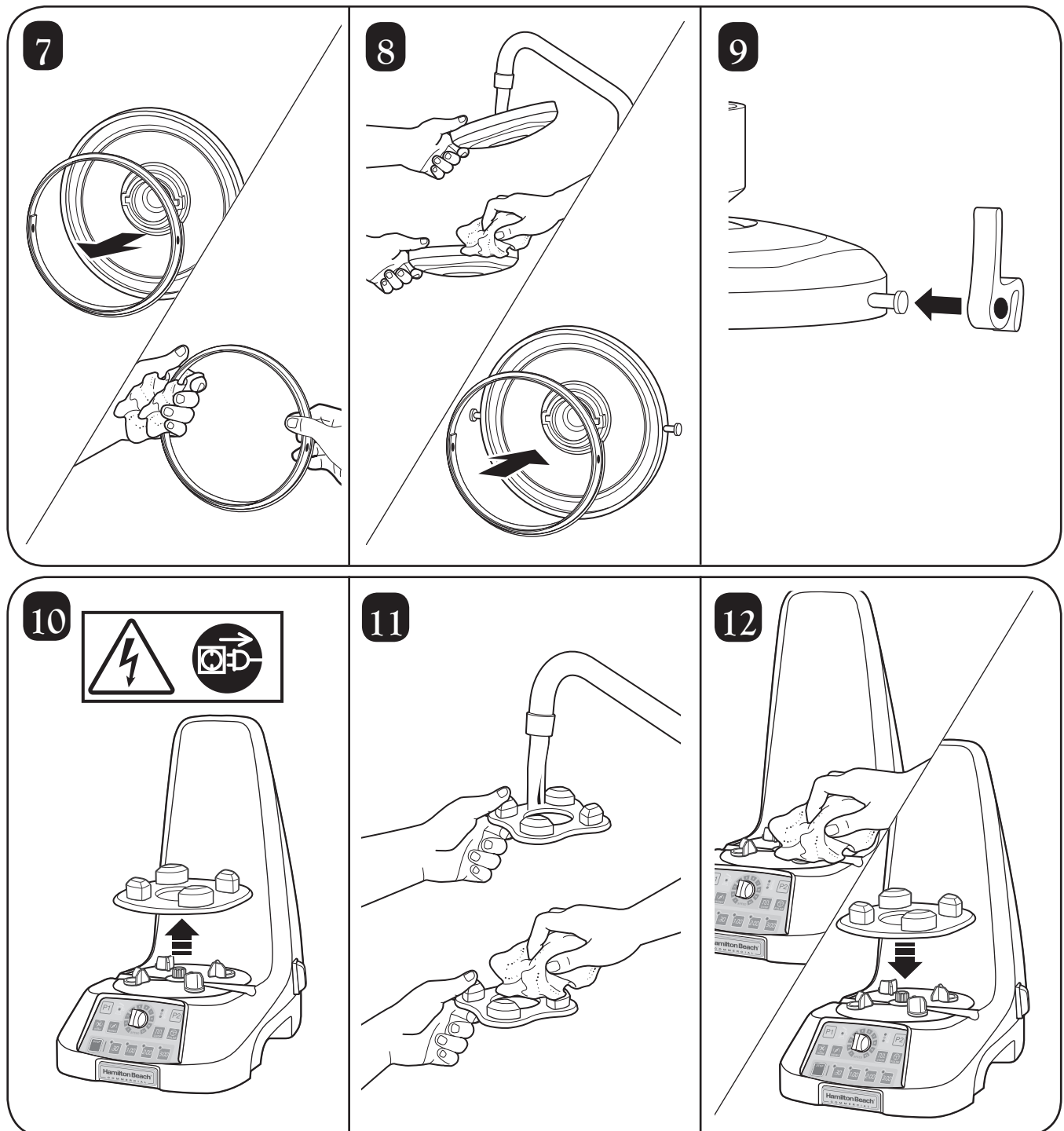
製品を長く安全・衛生的にご使用いただくために、
使用のたびにきれいにお手入れすることをお奨めします。



強制

部品の取付、取外しやお手入れをするときは必ず器具のスイッチを切り電源プラグを抜いて下さい。手を引き込まれたり感電事故の原因となる恐れがあります。
* 電源プラグを抜く際には必ず機具のスイッチを切り、プラグ部分を持って抜いて下さい。

- 7 コンテナカバーガasketを取外しコンテナカバーとガasketを中性洗剤とスポンジや軟らかいブラシで洗浄します。
※洗剤の使用方法は洗剤の容器に記載されている使用方法に従って安全にご使用ください。
※洗浄機はご使用になることができません。パーツの早期劣化につながり故障の原因となります。
- 8 9 洗浄後はよくすすぎ、よく乾かしてください。
コンテナカバーガasketを取付け、ラッチを取付けます。
- 10 11 ジャーパッドを取外します。中性洗剤とスポンジや軟らかいブラシで洗浄します。
洗浄後はよくすすぎ、よく乾かしてください。
- 12 モーターユニットの汚れを布巾などで拭き取り、ジャーパッドを取付けます。
カッターに異常を発見しましたら必ず販売店に相談してください。
※定期的にカッターに異常がないことをご確認ください。カッターの劣化、クラッチの摩耗、電源コードやプラグの損傷など、異常を感じましたらご使用を中止し、販売店にご連絡ください。



販売店